

「集え、高校生！ 戦国☆甲子園」 発表作品募集要項

1 目 的

地域の歴史探究を通じて自ら設定した課題を調べ、考える活動の楽しさを知る。また、先人の残した歴史遺産を活用したまちづくり提案を通じ、地域貢献の在り方を考える。

2 主 催 関市、岐阜県立関高等学校

3 開催期日 令和2年（2020年）11月8日（日）

4 イベント日程

- (1) オープニング 10:00～
- (2) 講演会 木下聡先生（東京大学助教、専門：日本中世史）
- (3) 見学会 刀剣鍛錬、関鍛冶伝承館、春日神社等
- (4) プレゼン大会 13:00～
- (5) 表彰式 15:30～

5 場 所 地域交流施設（刃物ミュージアム回廊内）

- ・関市平和通4丁目に建設予定
- ・関鍛冶伝承館近く（関市南春日町9-1、電話：0575-23-3825）
※長良川鉄道・刃物会館前駅[出口]から徒歩約4分

6 応募資格 令和2年度に高校在籍予定の生徒 （高校生、中学生、個人・グループどちらでも可）

7 応募作品

【歴史探究部門】

戦国時代に関する歴史探究

(例) 人物、史実、城、産業、文化、遺跡等、戦国時代に関わる歴史探究

【まちづくり部門】

戦国時代に関する歴史遺産を活用したまちづくり提案

(例) 町並みや伝統産業、史跡等を活かした観光・ビジネス・ふるさと教育等につながる提案

8 応募形態

【ステージ発表】

- (1) Power point を使用した口頭プレゼンテーション
- (2) ポスター（模造紙）を活用した口頭プレゼンテーション
- (3) その他（寸劇・舞踊等のパフォーマンス、美術作品を活用した発表等）

【掲示物の発表】

掲示物の展示のみによる参加（※事前に作品を提出）

9 応募期間 令和2年6月1日（月）～8月28日（金）※必着

10 応募先・相談窓口

【応募先】

- ・「申込用紙」は在籍する学校を通じて、直接、関市企画広報課に提出
- ・〒501-3894 関市若草通 3-1 関市企画広報課（山田）※メール又は郵送
（電話：0575-23-7014（直通）、Email:kikaku@city.seki.lg.jp）
- ・申込受付後に、発表内容の準備・提出方法についてご連絡します。

【相談窓口】

- ・発表に関する相談窓口は、関高等学校研究推進部（担当：林直樹）とします。
- ・関市桜ヶ丘 2-1-1 岐阜県立関高等学校
（0575-23-3919（直通・兼FAX））、Eメール p22075@gifu-net.ed.jp

11 審査及び表彰

審査委員会において審査を行い入賞作品を決定

審査員	審査委員：関市長、木下 聡 氏、教育・まちづくり関係者など
審査基準	① 部門（テーマ）について深い調査、研究を行なっているか。 ②魅力的な歴史、文化、地域資源を紹介しているか。又はその内容を 活用した提案内容になっているか。 ③プレゼンテーションは分かりやすいか、その方法と表現に工夫と 独自のオリジナル性はあるか。
表彰	「歴史探究部門／まちづくり部門」において、優秀賞（関市長賞） を決定し、表彰状・記念品を授与する。

12 参加者の特典

当日は次のイベントに優先的に参加できます。（※会場内で実施）

- (1) 木下聡先生（東京大学助教、専門：日本中世史）による特別講演会
- (2) 古式日本刀鍛錬見学会（※本物の刀匠による鍛錬の実施、体験）
- (3) 関鍛冶伝承館の無料参観（学芸員による案内・解説付き）

13 留意点

- (1) 著作権・肖像権・個人情報には十分留意すること。引用文献・URL 等については必ず明記すること。
 - (2) 個人やグループによるオリジナルな発表・作品であること。学校の課題研究や夏休み自由研究などの発表済みテーマも認めるが、必ず新たな知見や提案を加えたり、発表方式を変えるなど工夫すること。
 - (3) 中世にさかのぼる産業（陶器・製紙等）や伝統芸能、戦国史との関係性が明らかな近世の城下町や武家文化等もテーマとして認める。
 - (4) まちづくり提案には史実と異なる「創作的要素」があってよい。ただし、史実と創作の線引きを明らかにしておくこと。
- ※所属校教員や保護者等の引率の下、参加すること。

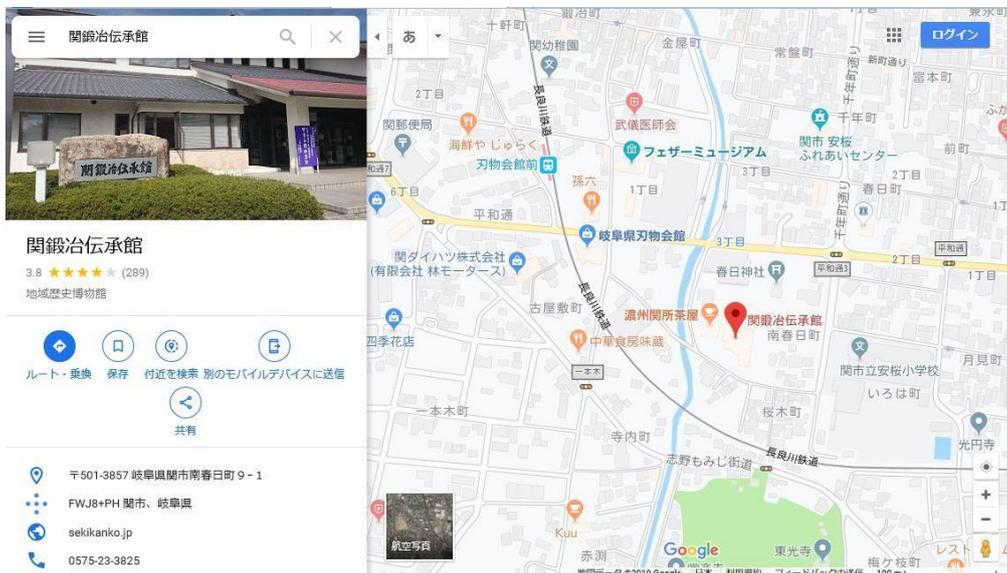
集え、高校生！！「戦国甲子園」 in 関

日時 令和20年11月8日（日）イイハノヒ

会場 「地域交流施設」（刃物ミュージアム回廊内）



(会場イメージ)



(Google マップより引用)